

SHIORI

静岡県済生会 榊

- 社会福祉法人 榊 済生会
- 社会福祉法人 榊 済生会支部 静岡県済生会
- 静岡済生会総合病院
- 静岡県川奈臨海学園
- 静岡医療福祉センター 児童部
- 伊豆医療福祉センター
- 静岡市発達障害者支援センター
- 静岡市心身障害児福祉センター いこいの家
- 小鹿苑
- 小鹿なでしこ苑
- 静岡医療福祉センター 成人部
- 静岡市桜の園
- 静岡市心身障害者ケアセンター
- ワーク春日
- 静岡医療福祉センター ライトホーム
- 静岡済生会看護専門学校
- 静岡済生会訪問看護ステーション おしか



- 生活困窮者を**済**(すく)う
- 医療で地域の**生**(いのち)を守る
- 医療と福祉、**会**を挙げて切れ目のないサービスを提供

社会福祉法人

財団 恩賜

済生会

会長 豊田 章一郎
理事長 炭谷 茂

本部

〒108-0073

東京都港区三田一丁目4番28号

三田国際ビルディング21階

TEL 03-3454-3311(代)

URL <http://www.saiseikai.or.jp/>

全職員数

54,000名

全施設数

364施設

沿革

明治44年(1911年)5月30日、明治天皇の「済生勅語」と、その基金として下賜された御手元金により、済生会は創立されました。創立以来、御言葉のご趣旨である「医療によって生活困窮者の生を濟う」という理念を掲げ、保健・医療・福祉の充実・発展を目指し、各種の活動を展開し、平成23年5月には100周年を迎えました。

現在、東京に本部、40都道府県に支部を置き、社会福祉法人として、公的医療機関として、また、保健・福祉サービスの担い手としてその機能を充実させ、さらに発展させるべく、病院、介護老人保健施設、障害者・高齢者・児童福祉施設、訪問看護ステーション等、370余の施設で約5万人の職員が保健・医療・福祉活動に取り組んでいます。入院・外来患者数は年間延べ1,747万人、入所・通所等の利用者は年間延べ490万人に達しています。

事業

●支部 全国40都道府県

(平成26年4月1日現在)

医療・保健関係	病院	79ヶ所
	診療所	16ヶ所
	指定訪問看護ステーション	49ヶ所
	介護老人保健施設	29ヶ所

福祉関係 ———— 児童関係

乳児院	6ヶ所
児童養護施設	1ヶ所
福祉型障害児発達支援センター	2ヶ所
医療型障害児入所施設	7ヶ所
保育所	7ヶ所
乳児地域交流事業施設	1ヶ所

高齢者関係

養護老人ホーム	3ヶ所
特別養護老人ホーム	49ヶ所
軽費老人ホーム(ケアハウス)	10ヶ所
老人デイサービスセンター	41ヶ所
老人短期入所施設	1ヶ所
老人介護支援センター	19ヶ所
認知症対応型老人共同生活援助事業(グループホーム)	4ヶ所
小規模多機能型居宅介護事業所	4ヶ所
地域包括支援センター	21ヶ所
有料老人ホーム	1ヶ所

障害者関係

救護施設	2ヶ所
障害者支援施設	5ヶ所
障害福祉サービス事業(自立訓練・就労支援)	9ヶ所
(グループホーム・ケアホーム)	3ヶ所
福祉ホーム	1ヶ所
地域活動支援センター	1ヶ所
盲人ホーム	1ヶ所
発達障害者支援センター	1ヶ所
自動車事故対策機構法療護センター	1ヶ所

その他

看護師養成所	8ヶ所
地域生活定着支援センター	1ヶ所
巡回診療船「済生丸」関係事務所	2ヶ所

静岡県済生会

社会福祉法人 財団法人 済生会支部

全職員数
1,700 名
全施設数
15 施設

支部会長 川勝平太
支部長 石塚隆夫

〒422-8527
静岡市駿河区小鹿一丁目1番1号
静岡済生会総合病院内
TEL 054-280-5026
URL <http://www.siz.saiseikai.or.jp/>

静岡県済生会とは

昭和6年7月、全国にある済生会の支部組織のひとつ、静岡県担当支部として、静岡県庁内に設置されました。

昭和23年6月に静岡県の委託を受け「静岡厚生寮済生会病院」（現静岡済生会総合病院）を開設、昭和33年1月には支部事務局（法人事務局）を現在地に移転しました。

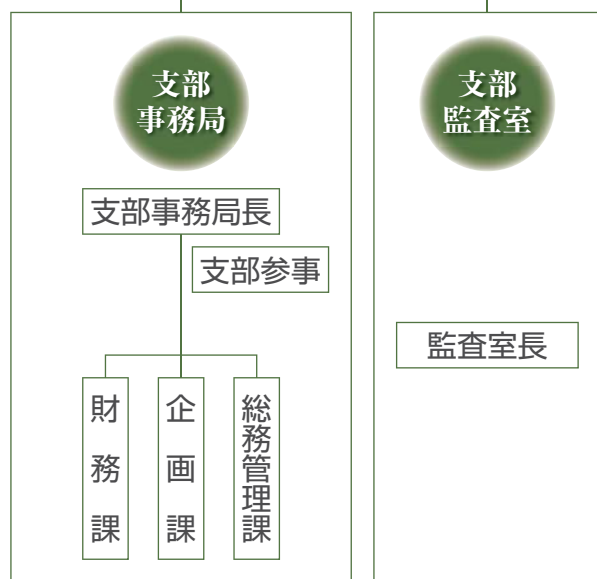
その後も各種の社会福祉施設等を開設または受託経営し、現在に至っています。

沿革

- | | | |
|----|-----------|--|
| 昭和 | 5 年 12 月 | 「済生会浜松診療所」開設 |
| | 6 年 7 月 | 済生会静岡県支部設置（静岡県庁内） |
| | 20 年 5 月 | 第二次大戦空爆により「浜松診療所」壊滅 |
| | 23 年 3 月 | 「三菱重工静岡三菱病院」を静岡県が買収 |
| | 23 年 6 月 | 「静岡厚生寮済生会病院」を静岡県より委託経営 |
| | 28 年 4 月 | 「静岡療護園」開設 |
| | 30 年 10 月 | 「静岡県川奈臨海学園」を静岡県より委託経営 |
| | 32 年 10 月 | 天皇・皇后両陛下の行幸啓を仰ぐ |
| | 33 年 6 月 | 「静岡厚生寮済生会病院」を「静岡済生会病院」と名称変更 |
| | 37 年 12 月 | 「静岡療護園」移転改築、静岡県より委託経営 |
| | 38 年 4 月 | 「付属高等看護学院」開設 |
| | 40 年 9 月 | 「伊豆療護園」静岡県より委託経営 |
| | 49 年 4 月 | 「いこいの家」静岡市より委託経営 |
| | 55 年 7 月 | 病院西館救命救急センター完成 |
| | 61 年 1 月 | 病院本館改築落成 「静岡済生会総合病院」と名称変更 |
| | 61 年 4 月 | 「静岡医療福祉センター」開設 |
| | 62 年 8 月 | 特養・看護学院複合施設落成 |
| | 62 年 10 月 | 特別養護老人ホーム「小鹿苑」開所 |
| | 63 年 4 月 | 「看護学院」を「静岡済生会看護専門学校」に移行 |
| 平成 | 5 年 9 月 | 「伊豆療護園」を「伊豆医療福祉センター」に名称変更 |
| | 6 年 4 月 | 「静岡市桜の園」静岡市より受託経営
「生活訓練ホーム静岡市桜の園」静岡市より管理運営委託 |
| | 8 年 8 月 | 「静岡済生会訪問看護ステーションおしか」開設 |
| | 10 年 4 月 | 「静岡県川奈臨海学園」虚弱児施設から児童養護施設へ変更 |
| | 12 年 4 月 | 「生活訓練ホーム静岡市桜の園城北館」静岡市より管理運営委託 |
| | 16 年 4 月 | 「伊豆医療福祉センター」肢体不自由児施設から重症心身障害児施設へ変更 |
| | 17 年 4 月 | 「静岡市中心身障害者デイサービスセンター」静岡市より管理運営委託 |
| | 18 年 4 月 | 「静岡市ワーク春日」静岡市より管理運営委託 |
| | 18 年 10 月 | 「静岡市中心身障害者デイサービスセンター」を「静岡市中心身障害者ケアセンター」に名称変更 |
| | 19 年 10 月 | 「静岡市発達障害者支援センター」開設 |
| | 20 年 6 月 | 「静岡済生会訪問看護ステーションおしか・サテライトみかど台」開所 |
| | 24 年 4 月 | 特別養護老人ホーム「小鹿なでしこ苑」開所
「伊豆医療福祉センター」静岡県より移管
「静岡市ワーク春日」静岡市より移管
「ワーク春日」に名称変更 |
| | 25 年 11 月 | 「伊豆医療福祉センター」増改築工事完成 |



組 織



事 業

ページ

①病院 静岡済生会総合病院	4
②児童養護施設 静岡県川奈臨海学園	6
③医療型障害児入所施設 静岡医療福祉センター児童部	8
④医療型障害児入所施設 伊豆医療福祉センター	10
⑤発達障害者支援センター 静岡市発達障害者支援センター	12
⑥福祉型児童発達支援センター 静岡市心身障害児福祉センターいこいの家	13
⑦特別養護老人ホーム 小鹿苑	14
⑧特別養護老人ホーム 小鹿なでしこ苑	16
⑨障害者支援施設 静岡医療福祉センター成人部	18
⑩障害者支援施設 静岡市桜の園 静岡市桜の園城北館	20
⑪自立訓練事業所・障害者地域生活支援事業所 静岡市心身障害者ケアセンター	22
⑫就労継続支援B型事業所・福祉ホーム ワーク春日	23
⑬盲人ホーム 静岡医療福祉センターライトホーム	24
⑭看護師養成所 静岡済生会看護専門学校	25
⑮訪問看護ステーション 静岡済生会訪問看護ステーションおしか 静岡済生会訪問看護ステーションおしか サテライトみかど台	26

静岡済生会総合病院

全職員数

1,069 名

病床数

534 床

(平成26年3月現在)



▲施設外観

〒422-8527

静岡市駿河区小鹿一丁目1番1号

TEL 054-285-6171

FAX 054-285-5179

E-mail hosp@siz.saiseikai.or.jp

URL <http://www.siz.saiseikai.or.jp/hosp/>

基本理念

私達は暖かい思いやりの心で
質の良い医療・福祉サービスを実践します

目的

静岡済生会総合病院は、社会福祉法人の経営する医療施設として、医療を受けることが出来ずに困っている人々に、その負担を軽減してよりよい医療を受けていただくことを目的とし昭和23年に開設。以来65年、地域の広範な医療ニーズに応えています。

沿革

- | | |
|-------------|------------------------------------|
| 昭和 23 年 6 月 | 静岡厚生寮済生会病院発足
(内科、外科、病床数54床) |
| 33 年 6 月 | 静岡済生会病院に改称 |
| 44 年 3 月 | 中央診療棟(6階建)完成(現東館A棟) |
| 47 年 4 月 | 臨床研修指定病院となる |
| 54 年 3 月 | 第二診療棟(3階建)完成(現東館B棟) |
| 55 年 7 月 | 西館(地下1階、地上7階建)完成
救命救急センター開設 |
| 60 年 12 月 | 北館(地下1階、地上8階建)完成 |
| 61 年 1 月 | 静岡済生会総合病院に改称 |
| 平成 6 年 4 月 | 静岡市医師会(現静岡市静岡医師会)と
病診連携システム協定締結 |
| 10 年 12 月 | 南館A棟(地下1階、地上10階建)完成 |
| 11 年 6 月 | オーダリングシステム稼動 |
| 13 年 9 月 | 清水市医師会(現静岡市清水医師会)と
病診連携システム協定締結 |
| 18 年 3 月 | 電子カルテシステム稼動 |
| 19 年 11 月 | 全面院外処方開始 |
| 20 年 7 月 | DPC対象病院 |
| 22 年 9 月 | 地域医療支援病院
エコアクション21に認定される |
| 23 年 10 月 | 卒後臨床研修評価機構より認定を受ける |

日本医療機能評価機構認定病院

「地域が必要とする各領域の医療において基幹的・中心的な役割を担い、高次の医療に対応しうるかどうか」の基準を満たしているか、500項目以上にわたる審査を受け、認定されています。(V6.0)





▲周産期・NICU



▲救命救急センター

診療科

総合診療科	眼科	整形外科
精神科	放射線科	脳神経外科
呼吸器内科	耳鼻咽喉科	胸部・心臓血管外科
腎臓内科	麻酔科	皮膚科
小児科	内分泌代謝科	産婦人科
外科	神経内科	歯科口腔外科
形成外科	消化器内科	緩和医療科
泌尿器科	血液内科	
循環器不整脈科		

特殊施設

透析センター	健康管理センター
リハビリテーションセンター	
ICU、CCU	NICU、GCU
BU(熱傷ユニット)	脳卒中センター
CT(2台)	MRI(2台)
血管撮影室	アイソトープ室
ライナック	高気圧酸素治療室
結石破碎室	無菌手術室
無菌治療室	

各種指定・事業

無料または低額診療事業

生計困難者のために、無料又は低額な料金で診療を行っています。

助産施設

保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由により、入院助産を受けることができない場合において、その妊産婦に対し助産を行うことを目的としています。

エイズ拠点病院

エイズ患者・感染者の支援を行うことを目的としています。

地域リハビリテーション支援センター

地域の高齢者等に適切なリハビリテーションを提供することを目的とし、当院におけるリハビリテーション医療の提供、介護・福祉施設従事者に対する援助・研修等を実施しています。

臓器移植推進協力病院

臓器移植の推進を図ることを目的とし、院内移植推進体制の整備と院内外への啓発活動を行っています。

地域周産期母子医療センター

緊急帝王切開など地域の医療機関からの緊急母体搬送を受け入れ、NICU(新生児集中治療室)を配置し、産科と小児科が一体化した高度で専門的医療を行います。

災害拠点病院(地域災害医療センター)

次の災害医療支援機能を有し、24時間対応可能な緊急体制を整備することにより、災害時の医療を確保することを目的としています。

- (1) 多発外傷、挫滅症候群、広範囲熱傷等の災害時に多発する重篤救急患者の救命医療を行うための高度の診療機能
- (2) 患者等の受け入れ及び搬出を行う広域搬送への対応機能
- (3) 自己完結型の医療救護チームの派遣機能
- (4) 地域の医療機関への応急用資器材の貸出し機能

救命救急センター

救命救急センターは、脳卒中、心筋梗塞、頭部外傷で重篤な救急患者を確実に受け入れることのできる高度な診療機能を有する24時間体制の医療施設です。

静岡県がん診療連携推進病院

地域がん診療連携拠点病院と共にがん対策に取り組めます。

地域肝疾患診療連携病院

B型及びC型ウイルス性肝炎の感染キャリアの早期発見、早期治療につなげていくことを目的としています。

静岡県川奈臨海学園 (併設)りんかい保育室

全職員数
40名

敷地 (本館・職員宿舎)
11,196.28 m²

建物 (本館・職員宿舎)
2,378.95 m²

構造
鉄筋コンクリート2階建

多目的ホーム
179.09 m²

基本理念

子どもの最善の利益のため、子どもたち一人ひとりが尊重され、心身ともに健やかに育成され、将来健全な社会の一員として、自立できるよう支援を行う。

目的

社会的養護を必要とする子どもたちが、年齢に応じて、安心・安全な生活をしながら、同一敷地内の特別支援学校や地域の幼稚園、小中学校、高等学校へ通い、さまざまな体験や経験を通して、将来社会の一員として自立できるようになることを目的とします。

利用するには…

市区町の福祉担当窓口にご相談ください。児童相談所の決定で入園できます。

定員

学園 80 名 (静岡県在住)



▲施設外観

沿革

昭和 30 年 10 月	事業開始	定員50名
31 年 9 月	内部改造	定員60名
34 年 6 月	施設増築	定員100名
47 年 4 月	本館改築・職員宿舎新築	
59 年 10 月	本館耐震工事終了	
平成 3 年 4 月	本館スプリンクラー設置	多目的ホーム完成
10 年 4 月	児童福祉法の改正により児童養護施設へ変更	病児・病後児保育事業『りんかい保育室』開始
平成 24 年 4 月	定員80名	

〒414-0044 伊東市川奈 510 番地の 7
TEL 0557-45-0509
FAX 0557-45-5169
E-mail rinkai-g@ninus.ocn.ne.jp
URL <http://www7.ocn.ne.jp/~kawanago/>



▲卒業を祝う会



▲磯遊び

事業の内容

生活支援

男女別、幼児、小学生、中高生別の居室編成の中、保育士・児童指導員が個別支援計画に基づき、生活の支援を行っています。

慢性疾患（喘息・アレルギー等）等、医療面での経過観察の必要な児童児童へ対しては、嘱託医や専門医と連携しながら、看護師・栄養士がケアします。

バランスのよい食事を提供し、四季折々の行事食、毎月の誕生会、希望夕食など楽しい食事会も行います。

心のケアとして、臨床心理士による相談や面接検査等を行っています。

生活体験

伊豆半島特有の海洋性気候や自然環境に恵まれた地の利を利用して、夏にはカヌー・海水浴の海洋活動も積極的に行っています。

学校教育

同一敷地内の静岡県立東部特別支援学校川奈分校への通学が可能です。少人数の学習グループで一人ひとりに応じたきめ細やかな指導を行っています。

伊東市内の幼稚園、伊東市立川奈小学校、伊東市立南中学校・高等学校へも通学しており、地域と共に子どもの支援を行っています。

病児・病後児保育事業

伊東市の委託による「りんかい保育室」では、伊東市内の0歳児から小学3年生までを対象として、病気で保育園、幼稚園、小学校を休んでいる間の日中保育を行います。仕事を休むことができない保護者を支援します。



▲節分行事



▲クリスマス会

「医療型障害児入所施設」

静岡医療福祉センター 児童部

全職員数

140 名

敷地

5,409.5 m²

建物

4,868.4 m²

構造

鉄筋コンクリート造

基本理念

私たちはノーマライゼーション実現のため、あたたかな心をもって皆さんを応援いたします。

★ノーマライゼーションとは、

「障害を持っていても地域で当たり前の暮らしをしよう」という、障害を持つ人も持たない人もそれぞれの地域で共になかよく暮らすという基本的な考え方です。

目的

児童福祉法に基づく医療型障害児入所施設であり、同時に医療法による病院（60 床）として運営されています。手、足、または体幹の機能に障害のある児童に対し、入院（単独入院、母子入院）及び通院による、診療・リハビリテーション・教育・生活指導などを統合した「療育」を行い、社会的自立や生活の向上を目的としています。

利用するには…

入院の適否について担当医師の診察を受けていただきます。入院決定後、所轄の児童相談所（県・政令市）での手続きを経て、障害者自立支援法による契約入院となります。

沿革

昭和28 年	4 月	静岡療護園開園 定員50名
	10 月	高松宮、同妃殿下御視察
31 年	1 月	定員100名(増築)
32 年	10 月	天皇、皇后両陛下御視察
33 年	4 月	県立養護学校創設
37 年	12 月	定員110名(移転改築)
39 年	8 月	定員120名
61 年	3 月	静岡療護園廃止
	4 月	児童部として開設(移転改築)
平成15 年	4 月	指定居宅支援事業所として児童・知的障害者短期入所事業開始
	18 年	10 月 指定障害者福祉サービス事業所として短期入所事業を実施
	19 年	4 月 指定相談支援事業所として療育等支援を実施
	22 年	4 月 定員60名
	25 年	4 月 指定特定相談支援事業所及び指定障害児相談支援事業所として療育等支援を実施

〒422-8006

静岡市駿河区曲金五丁目 3 番 30 号

TEL 054-285-0753

FAX 054-287-7982

E-mail jimubu@sizuoka-iryofukusi.jp

URL <http://www.sizuoka-iryofukusi.jp/>



▲児童部・リハビリテーション

事業の内容

医療

整形外科・小児神経科の医師がそれぞれの専門分野の診療を行います。また障害児者歯科の外來診療を併設しています。

リハビリテーション

医師の処方により理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が身体機能の改善や日常生活動作の向上を図ります。

教育・生活指導

小・中学校生は県立南部特別支援学校へ、高校生は県立中央特別支援学校へ通学します。乳幼児は施設内保育園で保育を受けます。施設では児童指導員による生活指導、学習指導の他、児童会による自治活動、クラブ活動等も行います。

普及啓発事業

「高校生リハビリテーション体験スクール」の開催

その他の事業

短期入所事業（指定障害福祉サービス事業）

相談室「やさしい街に」

- ・ 静岡市障害者等相談支援事業
（静岡市障害児等療育支援事業を含む）
- ・ 指定特定相談支援事業
- ・ 指定障害児相談支援事業
- ・ 静岡市障害者虐待防止相談窓口

研修所運営事業

- ・ 医療、福祉従事者の研修、会議やボランティア活動の支援等に対して施設貸付を行う。
- ・ 会議室等利用（定員：宿泊4名、会議100名）



▲施設外観

伊豆医療福祉センター

全職員数

113名

敷地

8,035.00 m²

建物

4,572.75 m²

構造

鉄筋コンクリート

鉄骨造

亜鉛メッキ鋼板合金メッキ鋼板ぶき
陸屋根2階建

基本理念

私たちは、障がいを持つ方々の生活の充実・満足を目指して、チームを組んで医療と療育の総合的支援に取り組みます。

目的

重症心身障害児(者)の療育訓練、生活援助をはじめとした入所・通所事業、療育相談、障害児(者)の外来診療など、障がいのある方への地域における総合的な療育を目的としています。

利用するには…

外来診療、リハビリテーションは予約制になっていますので、直接センターの窓口にお問い合わせください。

医療型障害児施設入所については、静岡県または政令指定都市の児童相談所の決定が必要です。

療養介護事業所、児童発達支援事業、生活介護事業、短期入所事業、日中一時支援事業については、市町の決定が必要です。

児童福祉法・障害者総合支援法等により、家庭の経済状況に応じて給付費、医療費等一部負担金がかかります。

沿革

- | | |
|----------|---|
| 昭和40年 9月 | 「肢体不自由児施設伊豆療護園」として開園 定員 50名 |
| 42年 3月 | 母子棟増築 定員 54名 |
| 45年 5月 | 訓練棟増築 |
| 平成 4年 4月 | 病棟改築完成 |
| 5年 9月 | 診療棟・訓練棟完成、全面改築工事完了 |
| 10月 | 『伊豆医療福祉センター』に名称変更 |
| 16年 4月 | 「重症心身障害児施設」に種別変更 定員 43名 |
| 17年 4月 | 特殊浴槽棟増築、厨房改修工事完了 |
| 18年 4月 | 指定管理者制度の適用 |
| 21年 4月 | 指定管理者第2期運営受託 |
| 24年 4月 | 静岡県より移管 法改正により「医療型障害児入所施設」と「療養介護事業所」に変更 |
| 25年 11月 | 増改築工事完成 |



▲施設外観

〒410-2122

伊豆の国市寺家 202 番地

TEL 055-949-1165

FAX 055-949-5303

E-mail jimu@izuiryo.jp

URL <http://www6.shizuokanet.ne.jp/welfare>



▲春の遠足



▲食事

事業の内容

医療

脳神経外科・発達行動小児科・整形外科・小児神経科・障害者歯科の専門医が、入所者及び外来患者の診察を行います。

入所支援

利用者一人ひとりの個性や状況に応じた支援を行い、安全で快適な生活が送れるよう努めています。

18歳未満の方が利用できる医療型障害児入所施設「まいか(苺花)」と18歳以上の方が利用できる療養介護事業所「にじ(虹)」の一体型です。

リハビリテーション

医師の指示により、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士が障害のある方に必要な治療を行います。

また、保護者に対し、家庭で行える療育指導を行うとともに、必要に応じて補装具及び機器の紹介とアドバイスをを行います。

通所事業

在宅で生活されている重症心身障害児(者)の通所事業を行っています。未就学児が対象の児童発達支援事業「ポレポレ」と18歳以上の方が対象の生活介護事業所「こすもす」があります。

短期入所事業・日中一時支援事業

重症心身障害児(者)を介護する方が、様々な理由により家庭で介護することができない場合に、日中及び夜間の生活支援を一時的に行います。

相談支援事業

相談支援事業「サポートセンターみらいず」では、福祉サービスを利用する方がより充実した生活を送ることができるよう、サービス等利用計画書の作成を行います。

また、障害児(者)地域療育支援センター事業と発達障害者支援センター機能強化事業を静岡県から委託され、在宅生活をされている障害のある方々の生活を広く支援します。

静岡市発達障害者支援センター「きらり」

全職員数

7名

建物

183.8 m²

構造

鉄筋コンクリート造



▲4階入口

目的

静岡市にお住まいの自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などの発達障害のある方や、その家族が安定した暮らしを営むことができるように、ご相談(相談支援)をお受けします。

利用するには…

すべてのご相談は、電話又はファックスで受け付けます。まずはお電話をいただき、希望される相談内容によって、必要な支援方法を一緒に考えていきます。

たとえば、①情報提供及びサポート機関の紹介

②来所による面接、聞きとり

③関係調整、支援会議 等です。

開設時間は、月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時までです。ご相談は無料です。

沿革

- 平成 19 年 5 月 静岡市より運営委託が決定し、静岡市発達障害者支援体制整備検討委員会が開催される
- 8 月 静岡医療福祉センター4階において改修工事終了
- 10 月 静岡市発達障害者支援センター開設
- 20 年 9 月 愛称「きらり」に決定
- 22 年 4 月 家族支援・支援体制サポート強化事業受託

事業の内容

発達障害者支援法に基づく幼児期から成人期までのライフステージに応じ、発達障害者に対する相談支援、発達支援、就労支援、関係機関に対する普及啓発及び研修等を行います。

- (1) 相談支援：日常生活の様々な相談を受け、助言、各種機関紹介、情報提供を行います。
- (2) 発達支援：個々に応じた療育や教育の具体的な手立てについて支援します。
- (3) 就労支援：就労を希望する方、就労している方に関係機関と協力して支援します。
- (4) 啓発研修：発達障害に関する情報発信を行い、発達障害の理解と支援を広めるために研修会や各機関への職員派遣を行います。



▲1階入口案内板

〒422-8006

静岡市駿河区曲金五丁目3番30号

静岡医療福祉センター4階

TEL 054-285-1124

FAX 054-285-1125

E-mail info@shssc.jp

URL <http://www.shssc.jp/>

静岡市心身障害児福祉センター 「福祉型児童発達支援センター」 いこいの家

全職員数
40名

敷地(城東町保健福祉エリア)

19,955 m²

建物

1,531 m²

構造

鉄骨造平屋建



▲活動の様子

基本理念

いこいの家は児童憲章の精神を尊び、障害のある子ども、またはその可能性のある子どもが地域で育つときに生じる様々な問題や発達の基盤である家庭生活への支援により、子どもたちの健やかな育ちと安心、安全な生活の達成に努める。

目的

発達の遅れ(運動発達の遅れ・ことばの遅れ)が気になる子ども、脳性まひや広汎性発達障害等の子どもが、地域で育つ時に生じる様々な問題や発達の基盤である家庭生活への支援により、子ども達の健やかな育ちと安心安全な生活の達成に努めます。

利用するには…

児童発達支援(通園支援)に入園希望の方・相談支援・保育所等訪問支援をご希望の方はいこいの家にお申し込みください。支給申請手続きは静岡市児童相談所・各区生活支援課で行います。

親子教室参加ご希望の方はいこいの家親子教室担当までご連絡ください。

定員

児童発達支援(通園支援) 定員 50 名

沿革

昭和 40 年	4 月	市内水落公園で青空教室を開いたことがきっかけで在宅心身障害児のための「いこいの場」をつくろうと運動が始まる。
49 年	7 月	「いこいの家」開設
51 年	4 月	認可施設定員30名
平成 3 年	4 月	定員10名増40名
17 年	8 月	定員10名増50名、春日三丁目より城東町へ新築移転
24 年	4 月	法改正により児童発達支援センターに移行

事業の内容

単独通園

平日 10:00～15:00
通園バス・ワゴン(一部自家用車)にて通園
対象: 幼児 定員 50 名

親子教室

集団参加の前段階としての親子通園をグループ別に実施します。
火曜日G…10:30～12:30(月3回)
水曜日G…10:30～12:30(月3回)
木曜日G…10:30～12:30(月3回)
金曜日G…10:30～12:30(月3回)

地域療育

障害児相談支援・特定相談支援を実施します。療育相談では発達の遅れが気になる乳幼児期の子どもと育児上の様々な困難を一緒に考えていきます。集団参加している障害児の保育所等訪問支援を行います。

地域福祉

一般市民を対象に福祉への理解を深めてもらうため、日常保育・諸行事への参加、壁面装飾等のボランティア活動を通して園と地域との交流を進めています。



▲施設外観

〒420-0846 静岡市葵区城東町 24 番 1 号
TEL 054-249-3190
FAX 054-249-3191
URL <http://www.e-switch.jp/ikoinoie/>

「特別養護老人ホーム」

小鹿苑

(おしかえん)

全職員数
120 名

建物
3,809.54 m²

構造(1・2階部分)
鉄筋コンクリート5階建

職員構成

施設長

事務員

生活相談員

介護員

看護師

管理栄養士

ホームヘルパー

ケアマネジャー

歯科衛生士

作業療法士

理学療法士

医師



▲施設外観

〒422-8021

静岡市駿河区小鹿一丁目1番24号

TEL 054-284-0021 (代表)

054-288-7800 (小鹿苑ケアプラン部)

054-284-0284 (静岡市駿河区小鹿豊田地域包括支援センター)

FAX 054-284-1286 (代表)

E-mail oshikaen-s@siz.saiseikai.or.jp

URL <http://www.siz.saiseikai.or.jp/oshikaen/>

基本理念

私たちは、ご利用者一人ひとりの声に耳を傾け、真に、ご利用者の立場に立った支援を実践します。

目的

静岡済生会総合病院併設のもと、医療・保健・福祉の一体化を図り、高齢者が施設や地域において、安心してその人らしく暮らせるよう支援します。また、高齢者福祉の向上に貢献し、地域社会の福祉拠点となるよう活動します。

基本方針

適切な健康管理のもと、家庭的な安らぎの場を提供するとともに、自立支援に向けて地域へ施設機能を提供します。

沿革

昭和 62 年	10 月	特別養護老人ホーム開所(定員50名)
63 年	1 月	短期入所事業開始(定員4名)
	2 月	デイサービスセンター開設(定員20名)
	10 月	入浴サービス事業開始
平成 4 年	3 月	訪問介護事業開始 在宅介護支援センター開設 地域交流スペース開設
	4 月	増築・特別養護老人ホーム(定員80名) 短期入所事業(定員20名)
12 年	4 月	デイサービスセンター(定員35名) 居宅介護支援事業開始
15 年	3 月	入浴サービス事業廃止
18 年	3 月	在宅介護支援センター廃止
	4 月	地域包括支援センター開設 介護予防支援事業開始 介護予防訪問介護事業開始 介護予防通所介護事業開始 介護予防短期入所生活介護事業開始

利用するには…

介護老人福祉施設、居宅介護支援、地域包括支援センターについては、直接当苑へ、その他居宅サービスについては担当ケアマネジャー



▲特養部 多床室

(介護支援専門員)を通してお申し込みください。

ご相談等については随時対応させていただきます。まずはお電話にてご連絡ください。

事業の内容

介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)

介護保険事業所名：小鹿苑 特養部 定員：80名

ご自宅での生活や介護が困難となった方に入居いただき、食事・入浴・排泄等の介護サービスを提供します。ご入居者一人ひとりの意思及び尊厳を尊重し、施設サービス計画に基づき、自律的な日常生活を営むことを支援します。

短期入所生活介護 (ショートステイ)

介護予防短期入所生活介護

介護保険事業所名：小鹿苑 短期入所部 定員：20名

ご自宅で生活されている方が一時的に短期間入居いただき、食事・入浴・排泄等の介護サービスを提供します。ご利用者の心身機能の維持、ご家族の負担軽減を図ります。

通所介護 (デイサービス)

介護予防通所介護

介護保険事業所名：小鹿苑 デイサービスセンター 通所介護部 定員：35名

通所方式にて食事・入浴・機能訓練等の支援をします。ご利用者の社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上、ご家族の負担軽減を図ります。

訪問介護 (ホームヘルプサービス)

介護予防訪問介護

介護保険事業所名：小鹿苑 訪問介護部

ご自宅へホームヘルパーが訪問し、日常生活を営むことができるよう、食事・入浴・排泄等の介護サービス、その他の生活全般にわたり支援します。

居宅介護支援 (ケアマネジメント)

介護保険事業所名：小鹿苑 ケアプラン部

ご自宅で生活されている方が介護保険サービスを適切に利用できるよう、ケアマネジャー(介護支援専門員)がケアプラン(居宅サービス計画)を作成します。その計画に基づいて保健・福祉医療機関と連携を取り、経過状況の把握、事業者との連絡調整、介護保険施設の紹介等を行います。

地域包括支援センター

事業所名：
静岡市駿河区小鹿豊田地域包括支援センター

包括的支援事業を実施し、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援します。

- ◎総合相談支援業務
- ◎権利擁護事業
- ◎包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
- ◎介護予防マネジメント業務



▲デイサービス

小^お鹿^{しか}な^なで^でし^しこ^こ苑^{えん}

全職員数
103 名

建物
4,001.12 m²

構造
鉄筋コンクリート造2階建

職員構成

施設長

事務員

生活相談員

介護員

看護師

管理栄養士

ケアマネジャー

作業療法士

理学療法士

医師

基本理念

「あなたがあなたらしく 私が私らしく」

運営方針

入居者一人ひとりの暮らし方を尊重し、家での生活が継続できるように支援します。

また、施設機能を生かし地域に貢献します。

処遇方針

- (1) ユニットケアを実施し、個別ケアの充実を目指します。
- (2) 個人情報の保護に努め、プライバシーを守ります。
- (3) 残存機能を活用し、自律した生活を目指します。
- (4) 地域のニーズに対応したサービスを工夫し、実施します。



▲施設外観

〒422-8021

静岡県駿河区小鹿 402 番地の 1

TEL 054-260-4165

FAX 054-260-4168

URL <http://www.siz.saiseikai.or.jp/shibu/nadeshikoen/>

沿革

平成 24 年 4 月 1 日 開所



▲パブリックスペース

利用するには…

介護老人福祉施設については、直接当苑へ、居宅サービスについては、担当ケアマネジャーを通してお申し込みください。

ご相談等については、随時対応させていただきますので、お気軽にお電話ください。

事業の内容

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

介護保険事業所名：小鹿なでしこ苑 定員：96名

常時介護を必要とし、自宅で生活することが困難な要介護高齢者に入居いただき、ユニット形式による家庭生活に近い環境のもとに食事・入浴・排せつ等の日常生活を支援します。

短期入所生活介護

介護保険事業所名：小鹿なでしこ苑ショートステイ 定員：12名

在宅で生活している要介護高齢者に短期間入居していただき、食事・入浴・排せつ等の支援を行うことで、心身機能を維持し、家族の介護負担を軽減します。

認知症対応型通所介護

介護保険事業所名：小鹿なでしこ苑デイサービスなでしこの家 定員：12名

認知症高齢者に通所していただき、食事・入浴・排せつ等の支援や機能訓練・レクリエーションを提供し、心身機能の維持向上を図るとともに、家族の介護負担を軽減します。



▲光庭

静岡医療福祉センター 成人部

全職員数

24名

建物

3,245.3 m²

構造

鉄筋コンクリート造

基本理念

「健康で安心して生活できるように支援します。」

目的

病気や事故等により身体に障害を持った方に、訓練や介護を提供し、ご本人自ら選択した今後の生活が実現できるよう支援することを目的としています。

利用するには…

市町のサービス支給決定を受け、ご相談ください。

沿革

- 昭和61年 4月 開設(重度身体障害者更生援護施設)定員70名
- 平成15年 4月 指定肢体不自由者更生施設に変更 定員70名
身体障害者短期入所事業(空床利用)開始
- 18年 8月 指定肢体不自由者更生施設定員60名、身体障害者短期入所事業定員10名にそれぞれ変更
- 10月 指定障害福祉サービス事業所として短期入所事業を実施
- 20年 10月 障害者自立支援法による「障害者支援施設」へ移行。
生活介護 40名／自立訓練 30名
施設入所支援 60名
- 22年 4月 生活介護 60名／自立訓練 10名
- 23年 4月 生活介護 70名／自立訓練廃止
施設入所支援 60名
- 25年 4月 施設入所支援 60名
生活介護 60名



▲施設外観

〒422-8006

静岡市駿河区曲金五丁目3番30号

TEL 054-285-2402

FAX 054-287-7982

E-mail seijin-kousei@sizuoka-iryofukusi.jp (成人部)

URL <http://www.sizuoka-iryofukusi.jp/>



▲外出支援（大道芸ワールドカップを楽しむ）



▲パソコン訓練

事業の内容

施設入所支援

入浴、排泄、食事等の介助、生活に関する相談及び助言を行います。

生活介護

日中は入浴・排泄・食事との介護、また生活等に関する相談及び助言を行います。その他、必要な日常生活上の支援、創作的活動の機会の提供その他身体的機能又は生活能力の向上のための訓練を行います。

短期入所支援

居宅において、介護を行う方の疾病その他の理由により短期間の施設利用サービスを提供します。



▲絵画



▲陶芸



▲屋上（歩行訓練、園芸を楽しんでいます）



▲チェアフィットネス

静岡市桜の園

静岡市桜の園 城北館

全職員数
64名

● 静岡市桜の園

建物
2,827.48㎡

構造
鉄筋コンクリート造平屋建

● 静岡市桜の園 城北館

建物
547.10㎡

構造
鉄骨造平屋建

基本理念

「あなたらしさを応援します」

静岡市桜の園は、人権を尊重し、日々有効なサービスを展開する。そして生活の豊かさを常に求める。

目的

身体障害者の権利や選択権を尊重し、質の高いサービスを利用者主体に提供するとともに、地域に開かれた施設づくりを目指し、身体障害者福祉の増進を図ることを目的としています。

利用するには…

利用を希望する方は、居住している市区町の福祉事務所へご相談ください。または、当施設にお問い合わせください。



▲施設外観（静岡市桜の園）

沿革

平成 6 年 5 月	身体障害者療護施設、身体障害者デイサービス、重度障害者生活訓練ホーム（内牧）事業開始
10 月	身体障害者短期入所事業開始
12 年 4 月	重度障害者生活訓練ホーム城北館事業開始
13 年 10 月	障害者生活支援事業開始
18 年 10 月	自立訓練（機能訓練）事業開始
21 年 4 月	日中一時支援事業開始
22 年 3 月	障害者生活支援事業終了 城東町福祉エリアへ移転
24 年 4 月	障害者自立支援法による「障害者支援施設」へ移行 生活介護100名／自立訓練（機能訓練）15名 施設入所支援50名

〔静岡市桜の園〕

〒421-2118 静岡市葵区内牧 1560 番地の 6

TEL 054-296-2000

FAX 054-296-1110

〔静岡市桜の園 城北館〕

〒420-0881 静岡市葵区北安東四丁目 32 番 34 号

TEL 054-200-5551

FAX 054-200-5552

URL <http://sakuranosono.kachoufuugetu.net/>



▲秋桜祭



▲日中活動(水遊び)

事業の内容

施設入所支援

(定員50名)

介護が必要な方や通所が困難で、施設に入所している障害者に対して、主として夜間において、就寝、起床、排せつ、食事の介護等の必要な日常生活上の支援を行います。

生活介護・単位①

(定員50名)

常時介護を必要とする方に主に昼間において障害者支援施設で行われる、入浴、排せつ、食事の介護等の必要な日常生活上の支援を行うとともに、創作活動やレクリエーションの機会を提供します。

重度障害者生活訓練ホーム

生活介護・単位②

(定員25名)

常時介護を必要とする障害者に、入浴、食事、排せつ等の介護、日常生活上の支援と身体能力・日常生活能力の維持、向上に必要な介護を実施します。

開館時間 8:30～17:00

重度障害者生活訓練ホーム城北館

生活介護

(定員25名)

常時介護を必要とする障害者に、入浴、食事、排せつ等の介護、日常生活上の支援と身体能力・日常生活能力の維持、向上に必要な介護を実施します。

開館時間 8:30～17:00

身体障害者短期入所事業

(1日5名)

居宅の身体障害者の方に、短期間の施設利用サービスを提供します。

自立訓練(機能訓練)事業

日中一時支援事業

(1日15名)

居宅の身体障害者の自立の促進、生活の質の向上を図ることができるよう利用者に応じて入浴、送迎、食事の提供をし、創作的活動レクリエーション活動などを通して機能訓練を行います。

開館時間 8:30～17:00



▲施設外観(城北館)

静岡市心身障害者ケアセンター

「自立訓練事業所・障害者地域生活支援事業所」

(併設) 障害者生活支援センター 城東

全職員数
22名

城東町福祉エリア内
保健福祉複合棟1階部分

敷地

(専用部分)

992.29 m²

(共用部分)

1,039.80 m²

構造

鉄骨3階建



▲レクリエーション活動

基本理念

ひとりひとりが地域の一員として、自立した日常生活を営むことができるよう、利用者が主役となり地域福祉に貢献できる施設を目指します。

目的

心身障害者の自立促進、生活の質の向上等を図ることができるよう必要な援助を行い、障害者の社会的な孤立感の解消及び心身機能の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減を図ることを目的としています。

利用するには…

身体障害者手帳・療育手帳等をお持ちで在宅生活をされている静岡市在住の方が対象となります。

利用を希望される方は事前に見学をしていただきますので、ケアセンターに直接お問い合わせください。

なお、利用にあたっては、各区福祉事務所の生活支援課で「障害福祉サービス受給者証」自立訓練の支給又は、「日中一時支援利用費助成決定」が必要となります。

沿革

平成17年 6月 開所

事業の内容

訓練・日中一時支援事業

〈自立訓練(機能訓練)〉【1日20名】

〈自立訓練(生活訓練)〉【1日10名】

〈日中一時支援事業)〉【空床利用】

地域で在宅生活をされている身体・知的障害者等の日中活動の場として、自立の促進・生活の質の向上等を図れるように、利用者に応じて機能訓練・生活訓練・社会適応訓練・相談・食事・入浴・送迎・創作活動・スポーツ・レクリエーション等の支援を行います。

利用日時 平日9:30～15:30

静岡市障害者相談支援事業「障害者生活支援センター城東」

〈指定一般相談支援事業〉

〈指定特定相談支援事業〉

〈指定障害児相談支援事業〉

静岡市の委託を受けている居宅の身体障害者及びその家族のための相談窓口です。生活上の悩み相談から、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活力を高めるための支援、ピアカウンセリングなど総合的な相談援助活動を行うことにより、障害者の地域生活を支援します。

窓口及び電話相談：平日8:30～17:15

E-mail jyoutou-keasenta@coda.ocn.ne.jp



▲施設外観

〒420-0846

静岡市葵区城東町24番1号

TEL 054-249-3187

FAX 054-209-0230

E-mail s-s-d@fork.ocn.ne.jp

URL <http://www14.ocn.ne.jp/~joutou61>

ワーク春日

全職員数
17名
設置面積
約 **827.56 m²**
延床面積
約 **1,142 m²**
建物構造
地上3階建
構造
鉄骨造



▲授産製品



▲封入作業

〒420-0823
静岡市葵区春日三丁目3番10号
TEL 054-221-1630
FAX 054-221-1631
E-mail info@workkasuga.jp
URL <http://www.workkasuga.jp/>



▲施設外観

基本理念

「明るく楽しく働くあなたを応援します。」

目的

一般就労が困難な障害者に対して就労機会を提供するとともに、生産活動を通じて、その知識と能力の向上に必要な訓練を行います。

事業の内容

就労継続支援B型事業所

(定員30名)

利用日時：平日 10:00～15:30

事業内容：点字印刷物の編集発行、封入などの下請け作業

授産製品製造販売、その他就労に必要な訓練

福祉ホーム

(定員6名)

住居を求めている障害者に対して低額な料金で居室等を提供し、自立した生活を営むために必要な支援を行います。

沿革

平成18年 4月 静岡市より指定管理者制度により受託

24年 4月 静岡市より移管

利用するには…

当施設、お住まいの市区町の福祉事務所にご相談ください。

「盲人ホーム」 静岡医療福祉センター ライトホーム

全職員数

1名

建物

366.2 m²

構造

鉄筋コンクリート造



▲ライトホーム・入口

目的

マッサージ師・鍼師・灸師の免許を持つ視覚障害者が自立するために必要な能力の向上を図るため、実技、経営、接客マナーなどの指導相談を行うことを目的としています。

沿革

昭和34年 4月 静岡県盲人ホームとして静岡市川辺町に開設

44年 4月 静岡市春日町に移転

61年 4月 ライトホームと改称し、静岡医療福祉センター内に移転

平成18年10月 静岡市地域生活支援事業による（盲人ホーム事業）として実施

事業の内容

技術指導

三療技術、治療院の経営や接客マナーなどの指導を行います。

生活訓練

日常生活に必要な動作の訓練を行います。



▲ライトホーム・施術室

〒422-8006

静岡市駿河区曲金五丁目3番30号

TEL 054-282-2944

FAX 054-287-7982

URL <http://www.sizuoka-iryofukusi.jp/>

静岡済生会看護専門学校

しずおかさいせいかいかんごせんもんがっこう

全職員数

15名

校舎

3,403 m²

鉄筋コンクリート5階建

(3～5階部分)

教室

各種実習室

講堂・体育館

図書館 他

寄宿舎

RC5階建て1人1室

(男女とも)



▲オープンスクール(模擬授業・沐浴)

基本理念

済生の精神にもとづき、対象となる人間を生命尊厳や個人が尊重されるかけがえのない存在として捉え、それぞれの健康段階にある人に看護が実践できるような専門職業人を目指す。

目的

看護師に必要な知識と技術を教授し、済生の精神を養い、保健・医療・福祉に貢献し得る人材を育成することを目的としています。

教育課程

看護学科 専門課程

修業年限3年(全日制)

定員40名(男女共学)

沿革

昭和38年 4月 静岡済生会病院附属高等看護学院
(各種学校)として開校 定員20名

63年 4月 静岡済生会看護専門学校
(専修学校)に移行 定員70名

平成10年 4月 定員40名に変更

学校生活

学生は、授業に実習にと忙しい毎日ですが、看護の道を目指すという共通の目的をもって、お互いに励ましあい絆を強めて楽しく充実した学生生活を送っています。

受験資格

高等学校卒業の者あるいはそれと同等以上の学力を有する者で、心身ともに健康な者。

卒業後の資格

- (1) 看護師国家試験受験資格
- (2) 保健師・助産師学校受験資格
- (3) 専門士(医療専門課程)の称号付与

卒業生

平成26年3月までに2,242名の卒業生を送り出し、社会の各界で活躍しています。



▲施設外観

〒422-8527

静岡市駿河区小鹿一丁目1番24号

TEL 054-285-5914

FAX 054-285-7718

URL http://www.siz.saiseikai.or.jp/nur_col/

静岡済生会訪問看護ステーションおしか サテライトみかど台

全職員数
36名

基本理念

障害や疾病を持ち、地域で生活している人々に対して、住み慣れた地域で、我が家で安心して「その人らしく心豊かな生活」ができるよう、温かく思いやりの心で質の高い看護を提供します。

目的

在宅療養者の生活の質・日常生活動作の維持・向上を図り、住み慣れた家庭において、安心して療養生活を営めるように支援することを目的としています。

利用するには…

利用者のご希望により、かかりつけ医の指示のもとに訪問看護（リハビリテーションを含む）が開始されます。

沿革

平成 8 年 8 月	静岡県指定訪問看護ステーションおしか開設
12 年 4 月	介護保険法施行によりみなし指定を改めて受ける
14 年 4 月	リハビリスタッフ導入
18 年 4 月	介護予防訪問看護ステーションの指定を受ける
20 年 6 月	サテライトみかど台開設

事業の内容

- 療養者の病状の観察及び健康管理
- 日常生活の援助
残存機能の向上、自立を目指した療養上の世話
- 医師の指示に基づく診療の補助
医療処置を必要とする療養者に対する対応
- リハビリテーション・日常生活動作の維持・向上
廃用症候群予防のための身体機能の改善・維持
- 介護相談及び家族に対して介護に必要な知識・技術等の相談・助言
- グループホーム入所者への健康管理



▲ST おしか

訪問看護ステーションとは…

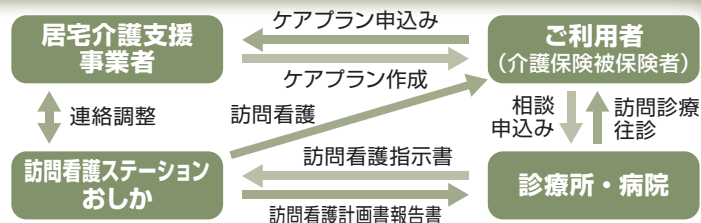
利用者のご自宅やグループホームなど在宅療養の場に看護師や理学療法士が訪問し、看護やリハビリテーション等の専門的なサービスを提供します。老人保健法、健康保険法、介護保険法に基づきます。

【静岡済生会訪問看護ステーション おしか】
〒422-8527
静岡市駿河区小鹿一丁目1番1号
TEL 054-289-5100
FAX 054-289-5101

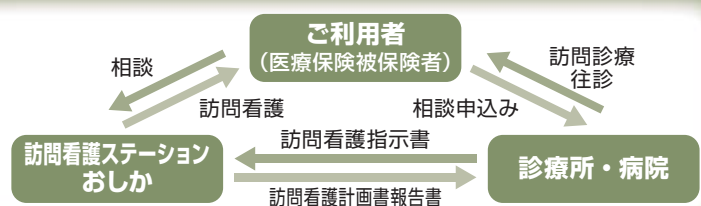
【静岡済生会訪問看護ステーションおしか サテライトみかど台】
〒424-0066
静岡市清水区七ツ新屋二丁目4番20号
TEL 054-347-3000
FAX 054-347-3008

URL <http://www.siz.saiseikai.or.jp/station/>

介護保険



医療保険



訪問看護ステーション利用のしくみ

いのち
すく
生を済う。

生活困窮者支援事業(なでしこプラン)

生活困窮者の生を済いのち すくう。「済生勅語」にみられる「施薬救療」の精神、明治天皇の御心により済生会は誕生しました。これが済生会の活動の原点です。

生活困窮者支援事業（通称:なでしこプラン）とは、経済的困窮者のみならず、ホームレス、刑務所からの出所者、DV 被害者、在留外国人等の生活困窮者全般を対象として、医療・福祉面での様々な支援を行うものです。全国の済生会一丸となって、無料低額診療事業（医療費減免）をはじめとした生活困窮者支援を積極的に展開しています。

医療費減免制度について(ご案内)

済生会では、医療費の支払いが困難な場合に、社会福祉法に基づいて患者さんの負担を軽減する制度を実施しています。

以下の条件に該当する方は、この制度の対象となる可能性があります。

経済的事由で支払いにお困りでしたら、お気軽に静岡済生会総合病院医療相談室までご相談下さい。相談は無料で秘密は守られます。

記

1. 無保険の方(国民健康保険資格者証の方を含む)
2. 短期国民健康保険証をお持ちの方
3. その他各法により低所得者の証明書等をお持ちの方

この制度の適用は申請時からとなりますので、お早めにご相談ください。

※ 医療費とは保険診療の自己負担分をいい、個室料、文書料等の保険給付対象外の費用は含みません。

濟生勅語 —— 明治天皇のお言葉 ——

朕^{チン}惟^{オモ}フニ、世局^{セイキョク}ノ大勢^{タイセイ}ニ隨^{シタ}ヒ、國運^{コクウン}ノ伸張^{シンチョウ}ヲ要^{ヨウ}スルコト、方^マニ急^{キユウ}ニシテ、經^{ケイ}濟^{サイ}ノ狀況^{ジョウキョウ}漸^{シロウ}クニ革^{アカ}マリ、人心^{ジンシン}動^{ユヤ}モスレハ、其^ソノ歸向^{キコウ}ヲ謬^{アヤマ}ラムトス

政^{マツリゴト}ヲ爲^ナス者^{モノ}、宜^{ヨロシ}ク深^{フカ}ク此^コニ鑒^{カン}ミ、倍々^{マスマス}優勤^{ユウキン}シテ業^{ギョウ}ヲ勸^{スス}メ教^{オシエ}ヲ敦^{アツ}クシ、以^{モッ}テ健全^{ケンケン}全^{ゼン}ノ發達^{ハツタツ}ヲ遂^トケシムヘシ

若^{モシ}夫^ソレ無告^{ムコク}ノ窮民^{キウミン}ニシテ醫藥^{イヤク}給^{キユウ}セス、天壽^{テンジュ}ヲ終^{オウ}フルコト能^{アタワ}ハサルハ、朕^{チン}力^{リキ}最^{モットモ}軫念^{シンネン}シテ措^オカザル所^{トコロ}ナリ、乃^{スナワ}チ施藥^{セヤク}救^{キユウ}療^{リョウ}、以^{モッ}テ濟生^{サイセイ}ノ道^{ミチ}ヲ弘^{ヒロ}メムトス、茲^{ココ}ニ内帑^{ナイド}ノ金^{カネ}ヲ出^{イダ}タシ、其^ソノ資^{モト}ニ充^アテシム、卿^{ケイ}克^{コク}朕^{チン}力^{リキ}意^イヲ體^{タイ}シ、宜^{ヨロシ}キニ隨^{シタ}ヒ、之^{コレ}ヲ措^ソ置^チシ、永^{ナガ}ク衆庶^{シュウシヨ}ヲシテ頼^{タヨ}ル所^{トコロ}アラシメムコトヲ期^キセヨ

大意

私が思うには、世界の大勢に應じて国運の発展を急ぐのは良いが、我が国の経済の状況は大きく変化し、そのため、国民の中には方向をあやまるものもある。

政治にあずかるものは人心の動揺を十分考慮して対策を講じ、国民生活の健全な発達を遂げさせるべきである。

また、もし国民の中に、生活に困窮して医療を求めることもできず、天寿を全うできないものがあるとすれば、それは私が最も心を痛めるところである。これらの人たちに薬を与え、医療を施して生命を救う一済生の道を広めたいと思う。

その資金として、ここに手元金を提供するが、総理大臣は私の意をくみとつて措置し、永くこれを国民が活用できるよう希望するものである。

紋章の由来



初代総裁・伏見宮貞愛(ふしのみやさだなる)親王は、創立当時、済生会の事業についてのお心を次のような「撫子(なでしこ)の歌」としてお詠みになりました。そちらにちなみ、いつの世にもその趣旨を忘れないようにと、撫子の花に露をあしらったものが、大正元年(1912)から済生会の紋章となっています。

露にふす 末野の小草 いかにと
あさ夕かかる わがころかな

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部

静岡県済生会

〒422-8527 静岡市駿河区小鹿一丁目1番1号
静岡済生会総合病院内

TEL 054-280-5026 FAX 054-280-5139

URL <http://www.siz.saiseikai.or.jp/>